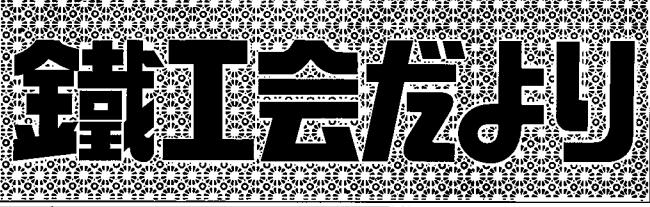


相互扶助
団結
共存共榮



発行 協同組合 島根県鐵工会

〒690-8567 松江市西津田 一丁目 9 番 50 号

☎ (松江) 0852

□ 鉄鋼営業部 鉄鋼 24-2530

板金 24-2528

□ 中部 営業所

〒699-0406 松江市宍道町佐々木868-54

□ 工機 営業部 24-2529

☎ 0852-66-3010

□ 建材 営業部 24-2531

□ 出 品 営 業 所

□ 総務 部 24-2156

〒693-0017 出雲市枝大津町21-3

□ 関連団体事業部 24-2157

☎ 0853-22-9288

□ 浜田 営業所

〒697-0006 浜田市下府町327-55

☎ 0855-22-1888

組合創立81周年

記念講演会開催

令和元年6月21日(金)午後1時30分より、松江市総合文化センター プラバホール2階大会議室に於いて、組合創立81周年記念講演会を開催しました。当日は、組合員並びに関係者各位に多数ご聴講いただき、心より厚く御礼申し上げます。

演題 「誇り高き日本人の物語」

講師 株式会社ことほぎ

代表取締役 白駒 妃登美氏

《講師紹介》

氏名 白駒 妃登美 (しらこま ひとみ)

略歴 1964年、埼玉県生まれ。福岡市在住。



講師 白駒妃登美氏

大病をきっかけに、命と向き合い、歴史上の偉人の生き方を改めて丁寧に紐解くなかで、かつての日本人が生きていた「今を受け入れ、この瞬間に最善を尽くし、天命に運ばれていく」という天命追求型の生き方にシフトする。生き方を変えたことで、病状が奇跡的に快復。

2012年、株式会社ことほぎを設立し、日本の歴史は「志」のリレーであり、報恩感謝の歴史であることを伝える講演活動を本格的に開始する。

講演では「こんな歴史の先生に出会ったかった」「日本人に生まれてよかった」と涙する参加者が続出。全国各地での講演・メディア出演依頼は、年間200回におよぶ。主な講演先は、経営者勉強会、企業、教育機関、官公庁など多岐にわたる。子育てと仕事に奮闘する二児の母でもある。

天皇陛下御即位三十年奉祝委員会・奉祝委員、公益財団法人モラロジー研究所・特任教授を歴任。

《講演要旨》

紹介映像「Life 未来へのメッセージ」(福岡県田川市立中央中学校放送部作成)

〈命の大切さを説く道徳の授業〉

「みんなの命はこの世の中でたった一つのもの。その命に

代えても守りたいものがありますか?」

がんになり余命宣告を受け10年後がないと思ったときに何をしていいかわからなくなってしまった。そんな時に病に侵されながらも死の直前まで創作活動を続けた正岡子規のことを思い出し、過去を悔やむのをやめ、先人たちのように生かされている今を大切に生きる必要性に気付く。大切な人を笑顔にしたいという思いで今を懸命に生きるというメッセージ。

東京オリンピックの年の生まれで戦後の高度成長期に育ち、当時は日本人であることに誇りを持てなかった。日本人は海外の人々に嫌われ馬鹿にされていると思っていた。

しかし日本航空に就職し客室乗務員として海外に出て交流した際に「日本人である」という理由だけで信頼され親切にされ初めて日本人であることに誇りを持てるようになった。

日本人の何が外国人の人々に愛され信頼されているのか。それは「日本人の道徳心の高さ」によるものである。近年の大きな災害時にも日本人は自らが被災しても尚、秩序を守り譲り合い助け合う。その姿に外国人は感銘を受けている。しかしその道徳心の高さは何も非常時にのみ現れるものではない。途上国においては寄付や高い技術力の支援に感謝をしているが、それだけではなく日本人の労働観においても見習うべきものがあると感じている。

〈日本人の労働観を示すエピソード〉

・大戦後のウズベキスタンでの強制労働

強制労働という劣悪な労働環境においても挨拶を欠かさず、手を抜くことはなかった。苦しく弱音を吐く隊員が出る中隊長は「戦争中に多くの町を破壊した。だから今度は街づくりに貢献しよう」と言って励ました。そして懸命に作業する日本人に共感した地元の子どもたちは日本人捕虜たちに食べ物の差し入れをしてくれるようになった。差し入れをしてくれた子供たちに対して現場から持ち帰った木片から木のおもちゃを作つてお返しするなどどんなに苦しくても札には札を持って返した。

その勤勉さと礼儀正しさも年月とともに忘れ去られていったが、20年後の大きな地震の際にたくさんの建物が倒壊するなか、強制労働によって日本人が作ったナショナル劇場は美しい姿をとどめ、現地の人々に改めて日本人の仕事に対する誇りと技術力の高さを示した。

・イラクへの自衛隊復興支援派遣

自衛隊の宿営地で働くイラクの人々は他の多国籍軍の宿営地で働く時と違いまじめに働いていた。それを咎められた際に、それは他の多国籍軍の人々は口ばかり出して一緒に働くことをせず、契約の一日の終了時間の17時になるとあとはお前たちに任せたと言うが、日本の自衛隊は現地の

人々とともに汗水流して働き終了時間になると自分たちには後は任せろと言ってくれる、その姿勢に感銘を覚えるからだと言った。

このエピソードには日本人の勤労の美德のほかに日本の歴史の素晴らしい一面があふれている。

日本は世界でも最も古い歴史を持っている。日本の歴史は神話の時代に初代神武天皇の即位に始まり第126代今上天皇まで続いている。神武天皇は天照大御神の5代先の直系の子孫でその間に存在する瓊瓊杵尊が高天原からこの地を治めるために遣わされた。その際に瓊瓊杵尊は天照大神から「知らせ」と命じられた。「知らす」とは力ずくでねじ伏せるのではなく民の心を知り慈しみの心「愛の力」で治めること。日本のリーダーたちはこの「知らす」というものこそが最高のリーダーの在り方であると信じ、また民もそのリーダーの愛に甘えるのではなく誠の心を尽くすのが日本人の在り方である。

イラクの復興支援に派遣された自衛隊のリーダー番匠浩一郎はイラクの人々に向けて「我々自衛隊は友人としてやつてきた。60年前に焼け野原になった戦後祖父母の代が一生懸命働いて戦後復興を果たした。人類が誇るメソポタミア文明を持つあなた方に同じことが出来ないわけがない。一緒に頑張りましょう。」と言った。これこそが「知らす」という考え方の表れである、眞の国際人とは英語やグローバルスタンダードを身に着けることではなく、先人が残した文化や歴史を理解しちゃんとした日本人になること。眞の愛国心を持てばそれぞれの国の人の愛国心を尊重し大事にすることが出来る。これこそが国際人のスタートラインである。

10年前からこのような日本人の歴史の気付きをブログに書いており、それが出版社の目に留まり出版の話がきたものの残りの人生がわずかだと言われており残りの命を子供のために使おうと思っていたが生きた証として本を残したいという気持ちも湧き大きな葛藤を抱えた。この残りの命の使い道に背中を押してくれたのが正岡子規の生き方だった。

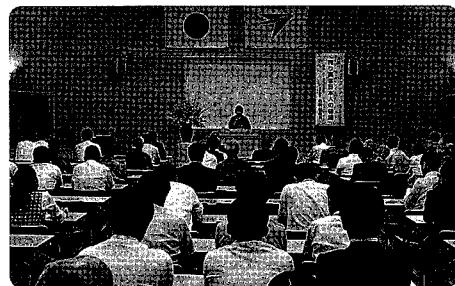
この出版のために病床で執筆していた際に気付かされたことが二つあった。

若いころはアメリカ型成功哲学に没頭し10年後の目標を叶えるために今を未来のための手段にしていた。しかし日本の先人たちは与えられた環境を受け入れご縁を大切にし感謝し今を精いっぱい生きることで天命によって導かれるという生き方をしていた。日本人なのにアメリカ人かぶれていたことをもったいなく感じた。

この生き方は神話の中から続いている。須佐之男命は見返りがあったからヤマタノオロチ退治をしたわけではなく出会った夫婦とその娘を助けたいと思ったから精いっぱい努力した。それにより須佐之男命はヤマタノオロチに勝利し後に三種の神器となる天叢雲剣を得た。自分の夢や目標はちょっと置いておいて大切な人を笑顔にするために精一杯生きると次はその人たちから応援され夢にも思わなかつたようなもっと素敵な現実がやってくるようになるということに気付いた。

また、今の自分の身に起こることは過去の結果だと思っていたがそうではなく、未来に必要なことでだから起こるのではないかということに気付いた。

江戸時代の国学者、塙保己一は盲目でありながら「群書類従」を編纂した。しかし彼が盲目になったのは編纂のために必要だったから天が与えたものだったのではないだろうか。保己一は明かりが消えてしまい弟子たちが大騒ぎをした際に「目明きとは不自由なものだ」と言っており、また編纂中の「群書類従」の版本を焼失した際にも失意の底にある弟子たちを「皆が無事で書物も無事なら一から始め



聴講風景

ればいい」と励ましている。見えていなかったからこそ彼は目の前のものに一喜一憂せずモノの本質と向き合うことが出来ていたのではないか。

いかと思う。

人生が思い通りにいっている人は多くの人々のおかげと感謝し、思うようにいかないことがあった時にはこれは未來の自分に必要なことだから天が与えたものだと受け止めることができれば「受け立つ」ことができる。このことに病床で気付くことが出来た。

〈たたらの話〉

たたらは出雲の國風土記に載っているのでおよそ1300年の歴史を持つ日本古来の製鉄方法で村下と呼ばれる技術責任者を中心責任者の下で製鉄が行われていた。村下は長年にわたって高温の炉内を直視するため、村下の眼は強い光によって衰えを早め、ついには視力を失ってしまうこともある。それでも村下という役割をやり遂げていたのは鉄というものが人々の暮らしを支えているという誇りがあったから。また彼らを支えていたのは日本人の追い求めてきた「道」というものであり、道とは生き方であり生き様である。「道」といえば武士道が有名だが武士道だけでなく日本人はそれぞれの置かれた場でそれぞれの「道」を磨いてきた。江戸末期から明治にかけて日本は近代化が進んでいった。たたらに象徴されるような高い技術力と崇高な精神性があったからこそ独自の産業革命により独立を守り通すことが出来た。

〈永井隆の話〉

明治末期生まれで松江の出身の放射線科医師。長年放射線科医師をしていたため白血病にかかり余命宣告を受けた上に長崎で原爆により彼ばくし妻も失う。それでも人間らしい心を失わず人々のためにつくしていた。病魔に侵されながらも人々の心に寄り添い、戦争の記録とそこから立ち上がりうとする人々の姿を残そうとたくさんの著書を残した。

人間には戦争を起こし奪い合うといった弱さや暗さと無上のやさしさ本当の強さといった相反する両面が与えられている。その中で少しでも愛や希望や感謝に生きるといった方向に人生を向かわせていけばこの社会はきっとよくなると信じている。

〈経営の話〉

経営で最も大切なのは永続性である。そして日本人は世界にある200年企業のうち半数以上が日本の企業であることからもわかるようにその永続性に長けた民族である。なぜ日本には200年企業が多く存在するのか。それはものづくりに対する技術力の高さと、同業他社での共存共栄の仕組みづくりのうまさ、「諸国客衆繁盛」(自分以外の全ての人々の繁栄)を祈る精神性によると思われる。この3つの柱があったからこそ日本型の経営の永続性が育まれていった。

数字ばかりを追うのではなくその根底にある創業者の思い、社会における存在価値、先人たちから大切に引き継がれたものなど、目には見えない大切なものを関わる人全てで分かち合い未来永劫継承していくことこそが企業における永続性の鍵である。

組合員異動

○代表者変更

- 4.15 有限会社花房鍛金（松江市東出雲町揖屋2557番地10）代表者が、土谷和幸氏から花房陽一氏へ替わられました。
- 5.10 高木産業有限会社（雲南省加茂町東谷1141番地）代表者が、高木雅広氏から高木智史氏へ替わられました。
- 5.15 株式会社加藤商事（安来市今津町38番地）代表者が、加藤和憲氏から加藤隆志氏へ替わられました。
- 6.15 株式会社太陽電機製作所（松江市矢田町250番地100）代表者が、景山一夫氏から景山文雄氏へ替わられました。

○新規加入組合員

- 6.28 松江山本金属株式会社（代表取締役 山本泰三氏）松江市北陵町30番地（電話0852-27-1800）金属部品精密加工。従業員28名。

職員人事異動

○定年により嘱託

- (令和1年7月1日付)
大野 洋子 60歳到達により嘱託職員とし、
出雲営業所勤務

○退職

- (令和1年6月30日付)
吉岡 浩夫 建材営業部

○出向

- (令和1年7月1日付)
岡本 肇晋 (株)鐵工会職員とし、浜田営業所勤務
(協同組合島根県鐵工会より)

令和元年度 永年勤続表彰

令和元年度永年勤続表彰（島根県中小企業団体中央会主催）が行なわれ、当組合からも永年勤続従業員として右記の1名が表彰状並びに記念品を受賞しました。

これを期に益々自愛の上業務に精励され、組合員への奉仕と組合の発展に寄与されることを希望します。

島根県中小企業団体中央会 会長表彰

三和 修（出雲営業所） 30年以上勤続

祝 全国理事長就任

令和元年5月15日に開催された、全日本板金工業組合連合会（以下：全板連）、一般社団法人日本建築板金協会（以下：日板協）の通常総会に



第71全国建築板金業者高知大会の壇上にて

おいて、島根県板金工業組合理事長天野宏昌氏が全板連理事長、日板協会長に就任されました。

天野理事長におかれましては、何よりもご健康に留意して頂き、島根県内で信頼されて来たように、全国でも“板金屋”に寄り添った組織運営をして頂き、更に充実した全板連、日板協へして頂きたいと存じます。

また、6月28日（金）には、同就任を祝い、島根県役員が集まり就任披露パーティーが和やかに開催されました。

この度の大役へのご就任、組合員並びに役職員一同心よりお慶び申し上げます。今後も益々ご健勝にてご活躍されますようお祈り申し上げます。

鋼 材 市 況

(6月25日現在)

■概況■

6月10日に発表された2019年1~3月期のGDP成長率（2次速報）では前期比+0.6%（年率換算+2.2%）と2四半期連続でプラスとなり、2018年度全体でも前年比+0.7%と4年連続でのプラス成長となっておりますが、2017年度の同+1.9%からは大きく鈍化し、国内の景気はすでに後退局面に入り、戦後最長の景気拡大記録の更新は幻に終わった可能性も否定できません。このまま暫く景気の低迷が続くのか、抜け出して再び回復に転じることが出来るのか、景気は今、正念場を迎えてる状況にあります。

世界の経済情勢は、米中の貿易摩擦の激化の影響を受け、各国で減速状態となっています。この状況が激化、長期化することは世界経済にさらに大きな影を落とすのではないかと不安視されています。また、中東や北朝鮮情勢などの地政学リスク、英国のEU離脱問題も懸念されています。

国内については、失業率が低水準で推移しており、個人消費は一定のレベルを保っています。また、企業の設備投資については、直近での業績の落ち込みが多少はあっても、働き方改革関連法の施行を受け、業務の効率化、情報化、人手不足対応のため、引き続き進められていくものと思われます。首都圏においてのオリンピック・パラリンピック関連のインフラ建設、再開発案件の増加は景気の下支えとなり、さらに年度後半には政府の打ち出している国土強靭化対策に対する公共投資が行われ、景気の落ち込みを和らげるものと思われます。また、自動車の電装化や世界的な人手不足によるロボット需要の高まり、5G導入を控えた動きなどから半導体関連での需要は回復してくるものと期待されます。

鋼材の市況としましては、鉄スクラップ価格は下落し続けており、一部電炉メーカーでは海外品との乖離を埋めることと、現状での国内相場の底を示す意図から値下げを発表しました。一方で、国内高炉メーカー各社においては高止まりしている鉄鉱石価格や輸送コスト増などの理由から値上げを発表しています。世界最大の鋼材生産国である中国からの輸出量は5月には中国政府のインフラ投資などの景気刺激策を受け、多少は減少しましたが、鋼材の価格動向については予測の難しい、非常に不透明な状況となっています。

昨年秋口からのハイテンションボルトの納期の長期化については、国交省が調整に乗り出しているものの、現状では大きな変化は見られない状況が続いている。

大阪開催のG20後の“何らかの変化”に対する期待はあるものの、夏の参院議員選挙、10月からの消費増税などを控え、さらには海外情勢も睨みながら、国内では様子見状態での足踏みが続く中、一年の折り返し、7月を迎えています。

■鋼板■ (横這い)

薄中板は、店売りマーケットにおける末端実需が長く停滞する中で在庫過剰感が浮き彫りになっておりこの為、市中の

荷動き、引き合いは小口当用モノに終始している状況です。

厚板は、建機・建材関連で工事遅延や工期ずれなどの影響が生じていることに加え、建機・産機といった製造業分野でも一部に需要減退の動きが見え始めています。厚板溶接業者の切板需要も足踏み状態で、切板の受注残が減少とともに稼働率も低下していることから、受注姿勢が弱気となっています。そのような中、鉄鉱石価格が7~9月積みで一段高となり、新価格は1t当たり86.3ドルで4~6月積み比で22%高くなります。このように高炉メーカーは7月以降、原料コスト上昇への対応を迫られそうです。しかし一方で、電炉メーカーである東京製鉄は、輸入材への対抗措置として販価を引き下げることで決定いたしました。このようなことから鋼板類は、相場は弱気ムードが強まっていますが、高炉材が値下がりしていないことからコイルセンターなど流通は販売に慎重な姿勢で目先、様子見商状が続くと思われます。

■薄板■ (弱含み横這い)

薄板3品は、2019年に入って荷動きが停滞しており、在庫過剰感が一部で出始めています。新年度になつても荷動きに改善の兆しが見えない中、米中の貿易摩擦の影響で、中国向け製品を扱うユーザーからの引き合いが減っており、市中・在庫の増幅に拍車をかけています。中国向けの落ち込みは機械向けや一部自動車関連にもマイナス影響が出てきており、市中・在庫の調整には時間がかかる見込みです。一方で、消費増税導入を前にした駆け込み需要への対応など市場環境が急速に好転してくる見通しもありますが、秋以降はその反動減となる予想もあり、予想のつかない様子見の状況が続き、需給タイト感もしばらく強まりそうにありません。当面の間、弱含み横這いで推移するものと思われます。

■ H 形鋼、一般形鋼■ (横這い)

高炉メーカーである日本製鉄の建材製品を扱う商社・特約店などで構成される“ときわ会”がまとめた5月末のH形鋼流通在庫は前月末比横這い、在庫率は3.08ヶ月と荷余り感はあるものの在庫量の増加は6ヶ月ぶりに収束。今後は減少傾向に転じるとの見方を示しております。足元の需要環境は物件の工期遅れや高力ボルト不足により、やや盛り上がりに欠け、メーカー・ロールには余裕がある状況です。ただ、秋の需要期に向け荷動きの回復が見込まれ、今年度後半から来春に物件が集中する見通しで、鉄骨需要は徐々に伸びていく見込みです。こうした状況を踏まえ、日本製鉄では必要最小限の引き受け姿勢を継続し、6月契約(7月ロール)の店売り向けH形鋼販価については据え置くとしておりますが、主原料以外の面も含め構造的なコスト高にさらされており、需給を注視して価格引き上げを含めた販売施策を引き続き推進していくとしております。

また、鉄スクラップを原料とする電炉メーカーの店売り価格については各社強弱があり、東京製鉄の値下げにおいては米中の貿易摩擦による海外市況の低迷から流入が予想される輸入材への対抗と、底値感を浮き彫りにし荷動きが本格化する秋需に速やかに値上げを実行するべくシナリオの冒頭の一節と捉えております。

■ステンレス■ (横這い)

ニッケル系ステンレスは、弱含み横這いで推移すると思わ

れます。

ニッケル相場などの原料市況の反転で、海外材に続き、国内メーカーも値上げに転じており、足元下げ止まりムードが台頭しています。しかしながら、荷動きには力強さを感じず、市中庫の増加で、仲間商いも振るわず小口当用買戻が続き、だぶつき気味です。

ヒモ付では半導体・液晶関係の需要が急速に冷え込んでおり、外食産業の低迷で業務用厨房も伸び悩んでいますが、車輌や薬品・食品関係などは引き続き堅調な動きが続いています。一方で店売りは相場先安観が無い為、活気に乏しい状況が続いています。

当面の間、様子見商いが続くものと思われ、弱含み横這いで推移する公算が大きくなっています。

■カラーコイル ■（強含み）

化粧鋼板市況に於いては、新年度に入り全国、中国地区においても鈍さがありました地域別に差はあるものの、持ち直しに転じてきています。

全般的に住宅着工数も増加へ転じ、非住宅案件も動き出す事から弱いながらも好調へ転じると予測されます。しかしながらこれから夏場を迎えるにあたり屋外作業の効率低下が予

想される為、足踏み感があると思われます。

価格面に於いては、JFE 鋼板を皮切りに値上げを視野に展開しており、秋頃に多少の値上げ（薄番手）を打ち出す見込みとなっており、今後施設の老朽化による改修などが実行されるのであれば、更に値上げを行う可能性もあり、細かな情報収集が必要となっています。

上記を総じて、当面は強含みで推移すると考えられます。

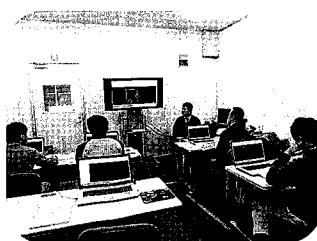
■異形鉄筋 ■（横這い）

異形鉄筋の市況は、スクラップ価格が4月から弱含みで推移していますが、メーカー各社は副資材費・運送等の上昇を理由に抵抗し、横這いで推移してきました。

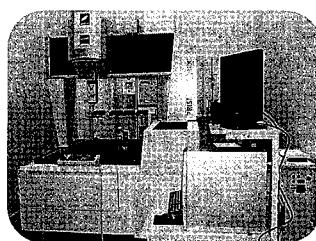
県内においては、新年度の新築物件の入札が増えています。高力ボルトの納期長期化などから建築案件の着工遅れが懸念されますが、今後に期待したいところです。

引き続きスクラップ価格は内需・外需ともに冴えず、弱含みで推移しており、需要家側は様子見の姿勢ですが、副資材や物流費など大幅に上昇した製造コストは高止まりを続けており、メーカーとしては販売価格維持の姿勢が緩みそうにありません。先行きに於いては横這いで推移すると思われます。

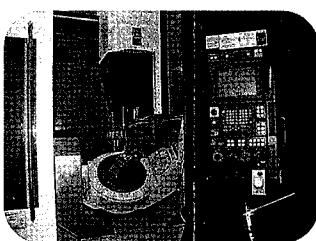
島根ものづくり技術支援センターのご案内



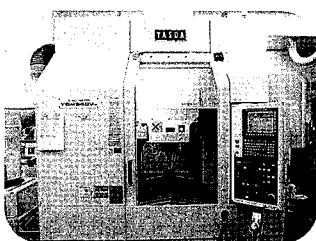
三次元 CAD/CAM システム
MasterCAM



三次元座標測定機
PRISMO Navigator 5
カールツァイス製



5 軸制御マシニングセンター D500
牧野フライス製作所製



立型マシニングセンター
YBM640V 安田工業製

「島根ものづくり技術支援センター」は、島根県内のものづくり企業の技術力を強化することを目的に設置された施設です。

最新鋭の加工・測定設備を備え、設備を実際に触りながらの実践型研修を開催し、更に研修受講者向けに機器開放しておりますので、試作トライアル（実体験）をご活用いただけます。

■機器開放事業

開放機器使用料金〔1時間当たり〕

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・三次元 CAD/CAM システム (MasterCAM) | [700円] |
| ・三次元座標測定機 (PRISMO navigator 5) | [1,000円] |
| ・5 軸制御マシニングセンター (D500) | [2,000円] |
| ・立型マシニングセンター (YBM640V) | [1,500円] |

ご利用時間：月～金（祝祭日を除く） 9：00～17：00

上記以外の日、時間帯の利用もご相談に応じます。

専属の指導員によるマンツーマンでの操作指導も可能です。

■実践型研修（受講料無料）

各設置機器について操作方法習得のため実践型研修を実施。プログラムやオペレーションを習得したい方を対象に操作説明と実習を行います。

開催日程は別途お知らせいたします。

申込み・お問い合わせ先は下記のとおりです。

会 場：	「島根ものづくり技術支援センター」 松江市矢田町250-102 松江内陸工業団地 島根県鐵工会敷地内
主 催：	協同組合島根県鐵工会 お問い合わせ先 TEL (0852) 24-2157
協力機関：	公益財団法人しまね産業振興財団 TEL (0852) 60-5114

《エコ商品》

高能率汎用ポンプ 片吸込単段渦巻ポンプ

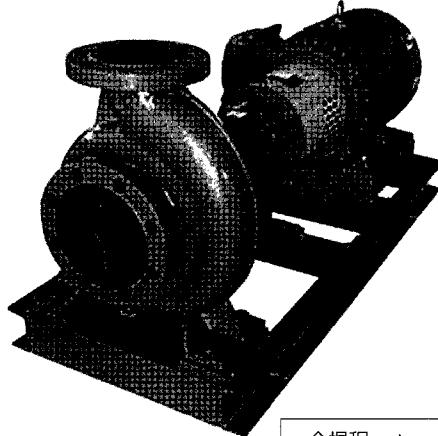
今回は、(株)西島製作所より発売されております、片吸込単段渦巻ポンプ(CAシリーズ)をご紹介いたします。

地球温暖化の原因の一つがCO₂排出量の増加ということがあります、排気量・消費電力量・コストの削減を実現した汎用ポンプです。国際的にモータの高効率化が進む中、トップランナー規制を満たした高能率モータを標準装備しており、高能率化によって騒音も低減されました。また汎用ポンプの稼働源であるインペラを、お客様の仕様に合わせて外径の加工(カット)を行い、余分な消費電力を削減を可能にしています。

「ポンプで省エネ」を実現するために、ポンプ省エネ提案書を作成しております。既設ポンプの仕様から、提案ポンプの仕様を割り出し、能力・消費量を総合的に判断した性能差を提示し、省エネ効果を事前に確認いただけます。ご要望を確認し、現地での既設ポンプの調査等も行ってお

ります。

環境問題・省エネ検討が国際的に進む中、ポンプによる省エネを提案しております。導入後、省エネ効果が期待できる商品となっておりますので、是非ともご検討、ご用命いただきますようよろしくお願ひいたします。



 TORISHIMA

全揚程	: ~100m
吐出圧	: ~1.0MPa
流 量	: ~600m ³ /h
温 度	: 10°C~80°C
口 径	: 32~200mm

お問い合わせは (協)島根県鐵工会 工機営業部まで TEL 0852-24-2529

第43回 2019米子どてらい市のご報告

6月15日(土)~17日(月)の3日間にわたり、米子産業体館特設会場において、第43回「2019米子どてらい市」が開催されました。

今年は参加メーカー131社、ご来場者数3,302名となり、連日大賑わいの展示会となりました。主催店であります当組合におきましても多数の皆様にご来場を賜り、またご成約をいただき誠にありがとうございました。



今回の米子どてらい市は、切削工具や作業工具をはじめ、各種アイデア工具や住設・生活関連・健康商品・家電など、手軽にお使いいただける商品が多数あり、様々なメーカーが自社自慢の製品やどてらい市キャンペーン品などを展示され、大変にぎやかな展示会となりました。

ご来場者様方には、製品を実際に手に取り特徴を各出展メーカーの方々が説明されたり、最新工具などのご提案の場として実際に商品を見てもらいながら、お互いにお話ができる良い機会となったと同時に、主催店である弊組合職員においても、良い勉強の場にもなりました。

これからも、組合員の皆様のお仕事に役立つ新製品・新技術の情報を提供できるよう日々努力して参りますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(工機営業部／瀧本貴之)

「ノー残業デー」実施のお知らせ

当組合では業務の効率化、法遵守の推進及び、職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)向上を目的として、「ノー残業デー」を実施する事と致しました。

平成29年5月より、月に2日程度実施致しております。実施日につきましては、月ごとに都度お知らせいたします。

「ノー残業デー」当日は、職員は原則として、

就業定時刻(午後5時30分)に退社致します。

取引先様におかれましては、電話対応・来訪などでご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後の予定としましては以下の通りです。

8月28日(水)

9月11日(水)、18日(水)

10月2日(水)、16日(水)

新商品紹介



空調服™

風が通り抜け、気化熱によって
身体を冷やす。

今回は、株式会社空調服の「空調服」をご紹介します。

昨今、炎天下での現場作業や工場内の高温環境および屋内であっても空調設備が設置できない場所では、熱中症の予防、暑さによる作業効率の低下や災害防止などさまざまな対策が緊急かつ重要な課題となっています。空調服は左右の腰の辺りに 2 個の小型ファンを装備。衣服内に外気を取り入れて循環させることで体表面の汗が蒸発、その気化熱で体を冷やして涼しく快適な着心地を提供します。

大容量バッテリーにより約8時間連続使用できます(7.2V 使用時)。また、省エネ性能に優れ、1ヶ月の電気代は、1着につき約48円と安価です。生地の素材は(綿100%)・(綿ポリ混紡)・(ポリ100%)あり、色・機能など種類も豊富です。

これから暑い季節を乗り切る為、この機会に是非、空調服をご検討下さい。

WEARING EFFECT

「空調服」の着用効果

1 身体に対する効果

生理クーラーを補助し、最適な状態に体表を冷やすことで、常に快適な状態を保ちます。

無駄な汗をかかなくなります。体力の消耗を抑えます。汗がすぐに蒸発するので、汗臭が減り、あせもなど、汗による皮膚病になりにくくなります。※効果には個人差があります。

2 エネルギー・コストに対する効果

空調服を毎日着用しても、1ヶ月の電気代は約48円と非常に安価です。

(大容量バッテリーを1日1回8時間充電した場合)

3 作業効率アップによるコストダウン効果

空調服を使用することで、作業効率が上がった場合、大きな利益改善が期待できます。

作業効率が10%アップすれば、11人分の仕事を10人で行えます。



お問い合わせは (協)島根県鐵工会 工機営業部まで TEL 0852-24-2529

中国・四国ウェルディングフェスタ2019のご報告

去る5月18日(土)、コンベックス岡山にて「中国・四国ウェルディングフェスタ2019」が盛大に開催されました。松江市内では、ホーランエンヤの渡御祭が開催され賑わいを見せるなか、当組合からは、34社56名の方にご参加頂きました。誠にありがとうございました。今回で7回目の開催となる展示会は「情熱」をテーマに様々な溶接機器・産業機械メーカーが展出しており、溶接機・周辺機器のほか消耗品等、様々な商品が展示されておりました。中でも、

三菱電機の「新型2次元レーザー加工機」による、実演コーナーがお客様の注目を集めておりました。私自身も様々な商品の説明を受け、良い勉強の場となりました。今回の展示会で学んだ新製品・新技術を組合員の皆様にご提供できるよう、日々精進してまいりますので、今後もご支援・ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。

(鉄鋼営業部／木谷和史)

青年部会の活動から

【視察事業の開催】

4月18日(木)～20日(土)の3日間に亘り、10名の参加者で下記の視察を行いました。

視察テーマ 外国人技能実習制度導入について考える
視察先 LOD人材開発株式会社（ベトナム・ハノイ）



羽田空港国際線ターミナルにて



LOD の校舎



LOD 玄関前にて

青年部会では前年度から外国人実習制度について、制度や実例について勉強会を行ってきました。

今回の視察では、現地ベトナムの外国人実習生の送り出し機関の視察を行いました。

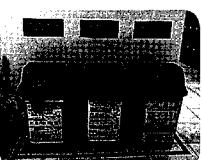
日本とベトナムの時差は2時間で、羽田からハノイまでのフライト時間は約6時間となります。初日の移動で現地入りし、2日目から視察を行いました。

LOD人材開発株式会社（以下LOD）では日本へ実習生を送り出す前の教育を行っています。LODに到着後は、施設や制度の紹介、質疑応答に続き、施設内や授業風景、実習風景を見学しました。

教育現場では、日本語はもちろん、日本の文化、5S、安全講習など、細かな指導がされていました。実習では足場組立や溶接の練習を見る事ができました。溶接も熱心に取り組んでいて、仕上がりもかなり高度なものでした。

また、生活面においても、朝の掃除やゴミの分別など日本の風習に合わせていました。5か月間この施設で研修を行った後、日本でさらに一か月の研修し、企業に入社されるそうです。習生の熱心に取り組む姿に、見学前のイメージも変わり、雇用の考え方がありました。

その後、ハノイ市内を見学しました。市街地では高層ビルが立ち並んでいますが、旧市街地に行くと屋台や商店が立ち並び、大きなギャップ

LOD 会議室にて。
ビン会長より詳細にご説明いただきました。日本語の授業風景。
皆さん日本語がとても上手でした。

ベトナムではゴミ分別の習慣はないようですが、分別のやりかたについても指導されています。



校舎内には、日本語に慣れるために、日本でよく見る標識がいたる所に掲げてあります。



足場組立実習



溶接にも力をいれています



市内観光として、ホーチミン廟を訪れました。

協同組合島根県鐵工会青年部会

がありました。また、道路は自動車とオートバイであふれ、クラクションがあちこちで鳴り、とても賑やかな町でした。

3日目は朝からハノイの空港を出発し、夜には米子空港に到着し、大変有意義な視察事業となりました。

【青年部会からの提案2019】

6月17日(月)に鐵工会館において、「青年部会からの提案2019」というタイトルで、鐵工会への業務等の提案を行いました。当日は、鐵工会から児玉理事長、金崎副理事長、松本専務理事をはじめ、門脇常務理事、若松理事に出席して頂き、「情報」「人材」をテーマに発表を行いました。

青年部会では創立30周年という大きな節目を通過し、今回の提案を企画しました。将来に渡って継続的に関係が継続するであろう、若手組合員の立場から、課題克服と未来創造のため提案を行いました。「情報」のテーマでは、発注のウェブ化、ホームページの情報共有や情報提供について。「人材」のテーマでは、若い人材の確保、即戦力の確保、外国人労働力、省力化について提案を行い、一同熱心に聽講しました。



福島会長あいさつ



会場風景



児玉理事長からの感想

【島根県松江地区建設業協会青年部会との勉強会・交流会】

6月19日(水)午後4時30分より、島根県民会館に於いて勉強会・交流会を22名の参加者で開催しました。

鐵工会の組合員と同じく「ものづくり」を生業としている建設業の皆様と交流し、情報・意見交換を行い、今後の事業活動に有益な場となる事を目的に今年で4回目の開催となります。

勉強会では、以下の内容を行いました。

・「外国人労働者の雇用について」

講師 島根労働局職業安定部

職業対策課課長 内田 和久 氏

・「ベトナム視察研修報告」

島根県鐵工会青年部会

(有)八雲テント 中村 征裕 氏

(株)野原熱鍊工作所 金崎 真澄 氏

(有)出雲建販サービス 岡田 竜司 氏

・「外国人技能実習生の現状」

島根県鐵工会青年部会

山陰設備工業(株) 原 真士 氏

・「外国人技能実習生受入 ~現状報告と実体験~」

島根県松江地区建設業協会青年部会

モリタ工業(株) 森田 光則 氏

その後、行われた交流会では親睦も深まり、充実した例会となりました。



聴講風景



島根労働局職業安定部 職業対策課課長 内田 和久 氏

関 連 団 体 通 常 総 会 報 告

島根県板金工業組合（理事長 天野宏昌）

島根県板金工業組合は、去る5月24日(金)午後3時20分より協同組合島根県鐵工会3階大会議室に於いて平成31年(令和元年)度通常総会を開催し、平成30年度事業報告並びに平成31年(令和元年)度事業計画が承認決議されました。併せて親会総会に先立ち、同日午前11時より、同組合青年部の通常総会も開催され、平成30年度事業報告並びに平成31年(令和元年)度事業計画、役員改選及びその他の件が承認決議されました。

なお、本年度の役員改選により、下記の方々が就任されました。

島根県板金工業組合

理 事 長	天野 宏昌	(有)天野板金工作所
副理事長	後藤 重夫	(有)後藤板金
副理事長	中林 賢治	(有)中林板金
副理事長	塙野 清美	(有)平成板金
副理事長	松浦 真一	(松尚鍛力店)
専務理事	松本 吉郎	(協同組合島根県鐵工会)
理 事	安野 浩二	(有)安野板金工業
理 事	天野 省二	(天野板金)
理 事	三島 敏	(三島板金店)
理 事	陰山 裕一	(陰山板金工作所)
理 事	須田 強	(有)須田板金
理 事	景山 晋	(景山板金工業)
理 事	林 朋法	(ハヤシ板金)
監 事	石倉 吉郎	(ばんきんや)
監 事	古川 勝久	(古川ブリキ店)

島根県板金工業組合 青年部

部 長	天野 正道	(有)天野板金工作所
副 部 長	塙野 稔昭	(有)塙野板金
副 部 長	中林 佑二	(有)中林板金

島根県建築板金技能士会

会 長	吉水 博	(有)吉水板金
副 会 長	仲田 満	(仲田板金)

技能研究部会

会 長	石倉 吉郎	(ばんきんや)
-----	-------	---------

責任施工制度運営委員会

委 員 長	天野 宏昌	(有)天野板金工作所
副 委 員 長	後藤 重夫	(有)後藤板金
副 委 員 長	勝部 信生	(有)勝部板金

島根県溶接協会長に福島伸光氏が就任

去る、4月26日に前会長の藤原善夫氏のご逝去に伴い、5月17日の島根県溶接協会の通常総会に於いて、(有)福島造船鉄工所 代表取締役社長 福島伸光氏が選任されました事をご報告致します。

前会長の藤原善夫氏は、昭和61年に会長に就任され、32年間にわたり溶接業界の取り組みにご尽力されました。その間、全国溶接技術競技大会の島根大会の誘致、溶接検定の学割制度の導入、県内高校への溶接機の贈呈など、多大な業績を残されました。

福島新会長も前会長の業績に臆することなく溶接業界の発展に寄与されることを望むと共に、皆様の当協会に対し、更なるご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2019年度(第58回)溶接技術競技会島根県大会 兼(第65回)全国溶接技術競技会島根県予選 成績及び入賞者のご報告

去る4月14日(日)にポリテクセンター島根に於いて(第58回)溶接技術競技会が県内企業9事業所から被覆アーク溶接部門に4名・炭酸ガス半自動溶接部門に11名 合計15名が参加して行われました。外観、X線及び曲げ試験を行い総合評価の結果下記の通り入賞者が決定致しました。

最優秀賞を受賞された両選手が島根県代表として11月17日沖縄県中頭郡北谷町にありますポリテクセンター沖縄で開催される全国溶接技術競技会にトップを目指して参加されます。是非全国に山陰の溶接技術のレベルの高さを知らしめられんことを期待致します。

1. 被覆アーク溶接部門 (800点満点)

最優秀賞 島根県知事賞

(一社)日本溶接協会中国地区溶接技術検定委員会委員長賞
宇山 雄人 (株)日立金属安来製作所 (741点)

優秀賞 島根県商工労働部長賞

遠藤 仁 日立金属(株)安来工場 (721点)

島根県溶接協会

2. 炭酸ガス半自動溶接部門 (800点満点)

最優秀賞 島根県知事賞

(一社)日本溶接協会中国地区溶接技術検定委員会委員長賞
柘植 博映 (株)矢田製作所 出雲工場 (774点)

優秀賞 島根県商工労働部長賞

錦織 聖史 出雲鉄工所 (751点)

優良賞 島根県溶接協会長賞

中尾 正幸 中尾溶接 (745点)

敢闘賞 島根県溶接協会長賞

平野漱二郎 (株)藤原鐵工所 (743点)

努力賞 島根県溶接協会長賞

田中 和伸 (有)田中工業 (735点)

大会開催にあたり、選手ならびに役員を派遣していただきました関係事業所におかれましてはご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

こんなにあるのか郷土の遺産

ほくさい ゆうせい

④〇 北斎も友聲もすばらしい絵師

島根県観光推進協議会委員
風土記を訪ねる会代表
山陰万葉を歩く会会长

川島 茜美子



堀江友聲

《項羽と劉邦図》

島根県立美術館蔵

いつも前を素通りするだけだった島根県立美術館のパスポートを、今年二月に買ってしまった。「葛飾北斎展」に惹かれてしまったからだ。三十年程前に、津和野町に「葛飾北斎美術館」が開館したことも影響している。

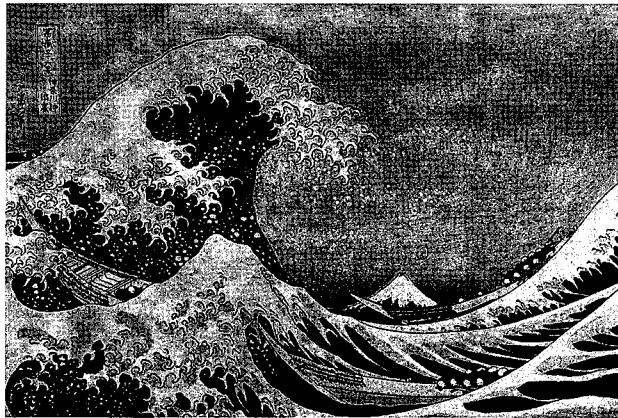
あの有名な、教科書で必ずお目にかかる、富士山の浮世絵の画家葛飾北斎は、それは日本人だけでなく、ヨーロッパ人も魅了して、北斎の絵の出版物はヨーロッパでも出回り、画家のデッサンの手本となつたといふ。その北斎の絵が、この島根県でいつでも見れる、「ぜひ、一度本物を見てみたい」とずっと思っていた。

前期展、後期展両方見たい、それなら一年間有効のパスポートを買ったほうが安上りと思ったのである。

県立美術館所蔵の北斎の絵画約二千件は、津和野町出身の浮世絵研究家、永田生慈氏が、

小学三年生時、古書店で手にした、北斎の絵手本「画本早引」に魅せられ、十代半ばから本格的に蒐集を始め、亡くなるまでには二千件も集められた。亡くなる十ヶ月前に「散佚させることなく公立館に収めたい」と寄贈されたことによる。「この目で行く末を見届けたい」の遺志を継いで、今度、全国でも貴重な北斎展が島根県で行われたのである。

行って見て、圧倒された。次に、興味をもったのは、九十才の間に北斎は何度も「号」を変えるのであるが、主な号は「勝川春朗→俵屋宗理→北斎辰政→円」である。最後の「円」は、北斎が川柳を作る時の号である。文政八年(1825)には「俳風柳多留」に川柳十九句載せる。自分の川柳に、漫画をつけて、出版もしている。錦絵で「百人一首うばが絵説」も出版し、好評を博している。絵とか、歌とかは、古代より皆が好きなもの



葛飾北斎 《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

のだったのだと、改めて納得した。

その後、県立美術館では、雲南省大東町出身の「堀江友聲展」を見た。副タイトルに「京に挑んだ出雲の絵師」とある。友聲は十五才の時京都に出て、修業遊歴して、当時京都で有名な海北友徳に懇請されて、養子になっている。それほどの実力者であったが、後に養子縁組を解消し、出雲国に帰り、広瀬藩主九代目、松平直諒の下で御用絵師となり、高い評価を得ている。年表の中で興味を惹いたのは、「北斎漫画」をかなり所蔵していたのと、萩藩の毛利斉元の要請で「和歌浦鶴之図」を画いていることである。

北斎も友聲も、ともに見事な画力であるが、その裏には、並々ならぬ努力があることがわかる。

「和歌浦鶴之図」とは、万葉集の中で有名な山部赤人の「若の浦に 潮満ちくれば 鴻を無み 葦辺をさして 鶴鳴き渡る」の歌を



葛飾北斎 《富嶽三十六景 凱風快晴》
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

描いた絵である。和歌山市の紀の川河口にある玉津島神社周辺の、清らかで静かな時の過ぎいく透明感ある情景を描いている。

「令和」で採られた万葉集の「梅花の歌」にある「和歌文化」の伝統が脈々と古代から北斎、友聲の活躍する江戸時代まで続いていることがわかる。

実は平安時代以降、日本で一番多く行われた連歌の座の中心で、和歌の神様として祀られたのが、玉津島神社と住吉大社と柿本神社の三神であった。玉津島も住吉もそして柿本人麻呂を祀る益田も、紀の川、淀川、高津川の河口の風光明媚な場所で、しかも、古代から政治的、経済的に重要な港があった。三つの場所とも、その周辺には海外との交流を示す大きな古墳も多い。

目に美しい画にも、耳に快い歌にも、その背景には大きな秘密が隠されている。



住吉大社（大阪市）



高津柿本神社（益田市）



玉津島神社（和歌山市）

全国建築板金業者大会へ参加

第71回全国建築板金業者高知大会が、去る5月16日(木)に高知県高知市「くろしおアリーナ」を会場として開催されました。

島根県からは総勢38名で参加し、全国から2,600名を超える参加者が集う盛大な大会となりました。

大会前日の5月15日に、貸し切りバスで島根県内各地を順に乗車しながら集合し、瀬戸大橋経由で四国へと入りました。四国では、南国市の西島園芸団地でスイカ・メロンの試食をしたり、龍馬が生まれた町記念館など、最後に有名な「ひろめ市場」を散策されました。

同日、別会場では、全日本板金工業組合連合会、一般社団法人日本建築板金協会の通常総会が開催され、我々、島根県板金工業組合、また組合員にとって、とても大切な議案が可決されました。

島根県の天野宏昌理事長が、全国の理事長として、選ばれ、就任されたのです。

会の最後に、天野新理事長より、その重責により緊張の面持ちではありましたが、力強い挨拶がありました。

翌日の式典では石本大会会長の挨拶で始まり、表彰では当組合から雲南支部の村上英志さん、松江支部の太田隆さんが組合活動に尽力されたことが評価され、組合功労賞を受賞されました。

そして、石本前理事長から天野新理事長へのバトンタッチの儀式として、特別な全板連バッジが渡され、最後に天野新理事長の力強い万歳三唱で、全板高知大会の式典も閉会となりました。

式典の後は昼食を摂り、隣接している展示会場に赴き、板金業界に関わる最新の機械、工具、材料などなど。晴天の中、暑さに負けず、皆さん熱心に



大会会場前にて記念撮影

見学、情報収集、また気に入ったものをご購入されておられました。

午後 2 時頃に大会会場を後にして、桂浜観光に赴き、巨大な坂本龍馬像と一緒に桂浜の眺望を楽しみ、その後、一路愛媛県は道後温泉へと向かいました。

道後温泉では、旅館で天野新理事長の誕生を祝い、賑やかな懇親会となり、その後、各々道後の夜を楽しめたようです。



桂浜をバックに記念撮影



桂浜の巨大な坂本龍馬像と記念撮影

最終日は、内子町の町並み散策し、伯方の塩の工場見学では、まるで“雪山”のような“塩山”に驚きつつ、“山のようなお土産”を購入されている方もおられました。

そして、途中休憩を挟みつつ、島根県内各地へ皆様方を見送りながら解散となりました。

この度の二泊三日の研修旅行を全員無事に過ごす事ができましたのも、皆様方のご協力

があつてこそ、と深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

また、この度の大会は、天野理事長が全板連理事長になられた特別な大会でもあり、大変心に残る研修旅行でした。

なお、来年、2020年の第72回全板大会は、静岡県に於いて開催されます。

多くの板金組合の組合員・並びにご家族、従業員の皆様方のご参加をお待ちしております。

島根県板金工業組合 事務局



全板高知大会式典最後に万歳をする全板連天野理事長



来島海峡サービスエリアにて

損害保険 募集業務についてのご案内

三井住友海上火災保険㈱代理店 株式会社鐵工会は、専門性の高いサービスを提供するため、2016年4月よりセーフティサポート㈱と保険の業務提携を行っております。

今後、組合員様のリスクマネジメントや各種保険相談、組合員の従業員様からのライフプランに関する各種相談や事故相談など、保険業務はセーフティサポート㈱と共同で対応させて頂きます。

なお、各種相談等は、株式会社鐵工会または直接右記セーフティサポート㈱にお問い合わせ下さい。

三井住友海上火災保険株式会社 代理店
株式会社鐵工会 代表取締役 松本吉郎
保険担当 國光洋志

◇業務提携先

三井住友海上火災保険株式会社
AAA 代理店 セーフティサポート株式会社

松江古志原店：松江市古志原町3-1-7 (松江工業高校前)
TEL：0852-59-3474 担当：乙部浩二

松江西津田店：松江市西津田2-9-15
TEL：0852-31-7171

大田店：大田市大田町大田口984-5
TEL：0854-84-0380 担当：品川和樹

浜田店：浜田市黒川町4196
TEL：0855-25-5320